kosei
生かされ、生きるチカラ。

社員があって、取引先があって、いまの自分がある。「まず人さま」を肝に銘じています。

浦和教会　町田信行さん

町田信行さんは、埼玉県戸田市において業務用厨房製品を製造・販売する（株）三和ステンレスの社長。同社は昭和55年に設立され、初めは兄が社長に就いた。その後、バブル崩壊により負債が一億円近くにまで膨らんでいた時期に町田さんがその座を引き継ぐ。会社の生命保険や火災保険すら解約して運転資金に回し、備品の一つまで無駄にしないように心がけ、経費削減を徹底。たが、そうした中でも、社員を安易に削減することだけはしなかった。そして自らが先頭に立ち、社員を明るく励ましながら、注文先に合わせた特注品や厳しい納期でも、なんとかやりくりして応えていった。その努力が実を結び、4年間で売上は2倍になり、黒字に転換。町田さんの「まず人さま」の姿勢が経営を立て直したのだ。「私は社員や顧客の喜びにつながる経営を心がけてきました。でも、まだこれからです」と語る町田さんの背中は、あたたかく、頼もしい。

「まず人さま」の心で

自分のことはさておいて、「人さまが幸せになるように」と思いやる「まず人さま」という心。そこに自他の調和があり、幸せがあると教えるものです。「このご時世に、そんなお人好しでは損をするだけ」と思う人がいるかもしれませんが、そうしたことも承知のうえで「まず人さま」の心を大事にすることが、幸せになる近道といえるのです。なぜなら、「まず人さま」と人さまが喜ぶことを願う心は、仏の慈悲に通じるからです。

「自ら未だ度ることを得ざるに、先ず他を度す」――自分はまだ迷ったり悩んだりしているけれども、まず、人さまの悲しみや苦しみを救う――道元禅師の『正法眼蔵』にある言葉ですが、禅師は「まず人さま」と他を思いやるこの慈悲心が何よりも尊いといい、この心を衆生に起こさしめることが、衆生にとっての利益であるともいっています。

とはいえ、最初はかたちだけでもいいのです。「まず人さま」と思うこと自体が有り難く、その瞬間、私たちはすでに損得や執着を超え、救われているといえるのです。

立正佼成会
www.kosei-kai.or.jp Eメール：info@kosei-kai.or.jp　〒166-8537 東京都杉並区和田2丁目11番1号　TEL.03-5341-1615